

南木曾町で遊休荒廃地対策として「サトイモ」の試験栽培を行いました

場 所 南木曾町

内 容

南木曾町農業技術者連絡協議会では、遊休荒廃地対策として「サトイモ」の試験栽培を3年間行っています。

本年度は、湛水栽培の検討や生分解性マルチを使った栽培を行いました。また、収穫・調製作業の効率化を図るため、サトイモ子芋分離機の実演研修も行いました。

5月15日に植え付けましたが、7月の長雨と日照不足とその後の高温干ばつにより生育は不良でした。湛水処理は、8月19日から行い、収穫時期まで処理を続けました。

10月26日に収穫を行いました。その時にメーカーに来ていただいてサトイモ子芋分離機の実演も行いました。手で分離するよりも効率的に行え、かつイモの損傷もなく分離できました。

また、当日は南木曾小学校2年生の子供たちにきていただき、収穫体験も行いました。

今後、試験栽培結果を検討し、遊休荒廃地対策に活かしたいと思います。



畝間に常時湛水して栽培



子芋分離機実演を見る小学生